



◀ 大きさの異なる  
上腕骨  
すべて成獣のものですが、  
その大きさは様々です。  
オホーツク犬とは  
どんなイヌだったのでしょうか。



発掘された貝塚の断面



出土したイヌの骨



▲ 頭骨（側面）

モヨロ文化市民講座

# モヨロ人とオホーツク犬

講師 内山 幸子 氏  
(東海大学准教授)

海獣狩猟文化といわれるオホーツク文化の遺跡からは  
「イヌ」の骨が出土、モヨロ貝塚もまた例外ではありません。  
オホーツク犬とも呼ばれるこの古代犬の姿や役割について、  
最新の研究成果から紹介します。



◀ 下顎骨

上から幼獣・亜成獣・成獣です。  
モヨロ貝塚からは年齢の若い  
イヌの骨が多くみられますが、  
さて、その役割とは？



貝がらや海獣骨のひろがり

日時 令和2年10月25日(日)

午後 2時～3時30分

(開場 午後1時30分)

会場 エコセンター2000 大会議室

(網走市北2条西3丁目3番地)

定員 60名(事前申し込みのみの受付となります)

※モヨロ文化に関心のある方どなたでもご参加できます。

※入場は無料です。

※新型コロナウイルス対策として  
会場でのマスクの着用・受付時の  
体調確認および検温へのご協力を  
お願いいたします。

お申込み・お問い合わせは前日までに郷土博物館(Tel0152-43-3090)まで